

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 輪島市

1 事業の趣旨・目的

市内在住外国人の日本語力向上を図るため日本語教室を開催し、基本的な読み書きや会話、地域で暮らす際必要となる知識を習得してもらう。また本事業と平行して行われる日本語講師養成講座受講生に、講師および講師補助として参加してもらうことで、同養成講師の実習の場として自信と経験を培ってもらう。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月14日	輪島市役所 会議室	今井 武 伊藤三津子 木下伸一 七浦禎蓮 岡山貴幸	日本語教室の重点事項の協議	・曜日、時間、授業内容、回数、テキスト、講師候補者及び受講対象者の協議。 ※日本語講師養成講座運営委員会と併催
7月22日	輪島市ふれあい健康センター	今井武 伊藤三津子 木下伸一 七浦禎蓮 岡山貴幸	日本語教室の授業内容及び運営全般の協議	・講師、授業内容、テーマ及び外国人生徒の教材について協議。 ・生徒募集方法及びチラシの作成について。 ※日本語講師養成講座運営委員と併催
12月22日	輪島市役所 会議室	今井武 伊藤三津子 木下伸一 七浦禎蓮 岡山貴幸	事業を終えて(反省・検討) 来年度の体制について	・反省等を踏まえ、自主運営を視野に入れた今後の教室運営について協議。 ・来年度の事業について(市中心部以外での日本語教室、企業との連携等) ※日本語講師養成講座運

				営委員と併催
--	--	--	--	--------

【写真】



第1回運営委員会
(日本語講師養成講座運営委員会と併催)

3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称
在住外国人のための日本語教室
- ② 開催場所
輪島市ふれあい健康センター
- ③ 学習目標
基本的な読み書きや数字、漢字、数の数え方や、日本の習慣および地域のルール等を学習し、実生活での不便解消を図ること。
- ④ 使用した教材・リソース
 - ・講師が用意した教材および考案したテーマ
 - ・教科書「みんなの日本語」、「日本語宝船」、「おしゃべりのたね」、「にほんごこれだけ」ほか
 - ・スーパーのチラシやパンフレット、飲食店のメニュー等。
- ⑤ 受講者の募集方法
 - ・輪島市国際交流サロンや石川県多文化共生推進員を通して周知。
 - ・「新聞折込広告」に募集記事を掲載。

(1) 受講者の総数 17 人

(出身・国籍別内訳 アメリカ4人, フィリピン3人, オーストラリア1人, 中国3人, イギリス2人, 不明4人)

⑥ 開催時間数(回数) 40 時間 (全 20 回)

⑦ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
①	8月6日 19:00~20:30	2時間	9人	フィリピン・タガログ語(3人) オーストラリア・英語(1人) アメリカ・英語(2人) 不明(3名)	教授者1人	・アイスブレイク ・自己紹介
②	8月13日 19:00~20:30	2時間	5人	フィリピン・タガログ語(3人) オーストラリア・英語(1人) 中国・中国語(1人)	教授者1人	・自己紹介 ・生徒の日本語レベルに応じた個人授業
③	8月20日 19:00~20:30	2時間	5人	フィリピン・タガログ語(3人) オーストラリア・英語(1人) アメリカ・英語(1人)	教授者1人 補助者2名	・輪島大祭を扱った相互交流型授業 ・教材:市の観光パンフ
④	8月27日 19:00~20:30	2時間	6人	フィリピン・タガログ語(3人) オーストラリア・英語(1人) アメリカ・英語(1人) 中国・中国語(1人)	教授者1人 補助者3名	・子どもや祭をテーマに相互交流型の授業 ・スーパーのチラシを使った授業
⑤	9月3日 19:00~20:30	2時間	4人	フィリピン・タガログ語(1人) オーストラリア・英語(1人) アメリカ・英語(1人) 中国・中国語(1人)	教授者2人 補助者1人	・文法の勉強(て系) ・血液型をテーマに相互交流型の授業
⑥	9月10日 19:00~20:30	2時間	6人	フィリピン・タガログ語(2人) オーストラリア・英語(1人) アメリカ・英語(1人) 中国・中国語(2人)	教授者2人 補助者1人	・文法の勉強(形容詞) ・お月見をテーマに相互交流型の授業
⑦	9月17日 19:00~20:30	2時間	8人	フィリピン・タガログ語(2人) オーストラリア・英語	教授者2人 補助者1人	・文法の勉強(形容詞の復習)

				(1人) アメリカ・英語(2人) 中国・中国語(3人)		・漢字の勉強
⑧	9月24日 19:00~20:30	2時間	4人	フィリピン・タガログ語(1人) 中国・中国語(3人)	教授者1人 補助者1人	・漢字勉強(前回の復習) ・生徒のレベル、ニーズにあわせた個人授業
⑨	10月1日 19:00~20:30	2時間	6人	フィリピン・タガログ語(1人) アメリカ・英語(2人) 中国・中国語(3人)	教授者2人 補助者1人	・漢字と反対語について ・生徒のレベル、ニーズにあわせた個人授業
⑩	10月8日 19:00~20:30	2時間	4人	フィリピン・タガログ語(1人) アメリカ・英語(1人) 中国・中国語(2人)	教授者2人	・私の住んでいる住所と周辺(地名や郵便番号、手紙の出し方) ・生徒のレベル、ニーズにあわせた個人授業
⑪	10月15日 19:00~20:30	2時間	5人	フィリピン・タガログ語(2人) アメリカ・英語(2人) 中国・中国語(1人)	教授者2人	・飲食店の利用の仕方 ・教材:市内飲食店のメニュー ・輪島市の方言について
⑫	10月22日 19:00~20:30	2時間	7人	フィリピン・タガログ語(2人) アメリカ・英語(2人) 中国・中国語(3人)	教授者2人	・フォトランゲージで相互交流型の授業 ・教材:講師、生徒が持ってきた写真や地図、旅行ガイド ・生徒のレベル、ニーズにあわせた個人授業
⑬	10月29日 19:00~20:30	2時間	7人	フィリピン・タガログ語(3人) アメリカ・英語(1人) 中国・中国語(1人) イギリス・英語(2人)	教授者2人	・数字と物の数え方 ・生徒のレベル、ニーズにあわせた個人授業

						業
⑭	11月5日 19:00~20:30	2時間	7人	フィリピン・タガログ語(2人) 中国・中国語(3人) イギリス・英語(2人)	教授者2人	・電話帳の使い方「〇〇したい時は？」 ・ロールプレイ(生徒-講師、1対1で)
⑮	11月12日 19:00~20:30	2時間	6人	フィリピン・タガログ語(1人) アメリカ・英語(2人) 中国・中国語(1人) イギリス・英語(2人)	教授者2人	・擬音語と擬態語 ・生徒のレベル、ニーズにあわせた個人授業
⑯	11月19日 19:00~20:30	2時間	5人	フィリピン・タガログ語(3人) アメリカ・英語(1人) 中国・中国語(1人)	教授者2人	・同音異義について ・相互交流型のゲーム
⑰	11月26日 19:00~20:30	2時間	3人	フィリピン・タガログ語(2人) 中国・中国語(1人)	教授者2人	・漫画オリジナルストーリーを作る ・教材:日本の漫画 ・生徒のレベル、ニーズにあわせた個人授業
⑱	12月3日 19:00~20:30	2時間	3人	フィリピン・タガログ語(2人) 中国・中国語(1人)	教授者2人	・正月をテーマに相互交流型の授業 ・生徒のレベル、ニーズにあわせた個人授業
⑲	12月10日 19:00~20:30	2時間	10人	フィリピン・タガログ語(3人) アメリカ・英語(2人) 中国・中国語(3人) 不明(2人)	教授者2人	・年賀状を書こう ・生徒のレベル、ニーズにあわせた個人授業
⑳	12月17日 19:00~20:30	2時間	7人	フィリピン・タガログ語(3人) アメリカ・英語(1人) 中国・中国語(1人) 不明(2人)	教授者2人	・自動詞と他動詞 ・生徒のレベル、ニーズにあわせた個人授業

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)

○10月8日(第10回)の授業にて

I. 輪島市日本語教室の特徴

- ・当日の当番講師(メインサポーター)をあらかじめ2名決め、授業案の構想や教材の準備、授業の進行を担当する。その他の講師はボランティア(サブサポーター)で生徒のサポートに回る。
- ・授業は大きく分けて前半と後半に分かれ、前半は主にメインサポーターが用意したテーマに沿って授業を進める「相互交流型授業」、後半は生徒個人がサブサポーターとともに自主的に学びたいものを「自主学习」する。

II. 10月8日の講座のテーマ:私の住んでいる住所と周辺

- ・この日の講座では、自分が住んでいる住所とその周辺地区について学んでもらった。これは受講生の多くが日本人の配偶者や数年間にわたり本市に滞在する人達であり、実生活に直結するためテーマとして選んだものである。

III. 授業の内容

- ・自分の住んでいる地区名の確認から始まり、近所にどんな施設があるか、何かあった時どこへ行けばいいか、小中学校の名前や、何歳から通うかなどを日本語の学習とともに学んでいただいた。他には郵便番号や市外局番を学び、手紙の出し方や緊急時の連絡方法について習得いただいた。これらの知識は地域で暮らす上で欠かせないものであり、家では聞きづらく、また教科書には載っていないものである。その後地域での関わりあいはずいぶん大事か、どの点に気を付ければよいかなどについて提示し、地域での孤立を防ぐ。

受講生・講師が一体となって教室全体で交流し、会話を通じて日本語とともに地域色豊かな勉強をすることも本教室の大きな特徴である。





⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
なし	なし	なし	なし	なし

⑪ 支援者の名簿(⑩以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
鶴田 隆司	本講座の講師 ※メインサポーター の日以外のボラン ティア	輪島市日本語講師養 成講座修了者	2	メインサポータ ーの補助、生徒 自主学習のサ ポート
伊藤三津子	〃	〃	10	〃
上野谷佳子	〃	〃	7	〃
大窪 恵子	〃	〃	4	〃
大崎 玲佳	〃	〃	10	〃
大西 香織	〃	〃	8	〃
亀田 美穂	〃	〃	6	〃
木下 伸一	〃	〃	9	〃
大江みどり	〃	〃	6	〃
泊 祥子	〃	〃	9	〃
富成 ジュリ	〃	〃	7	〃
七浦 禎蓮	〃	〃	4	〃
西鍛治祐子	〃	〃	2	〃
橘 裕郁子	〃	〃	2	〃
中村 裕子	〃	〃	10	〃

角 直子	〃	〃	1	〃
柴田 文吾	〃	無し	7	〃

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

- ・アンケートでは、「色々な人と話ができる」、「勉強になる」、「色々な知識を勉強した」等のほか、母娘で受講した生徒で「母にとってこの日本語教室は必要」との評価。全体的に楽しかったという意見多数。
- ・外国人生徒のレベル・目的がバラバラで、当初の目標達成評価が難しい点があるが、生徒にとって必要な日本語教室で、講師からも続けたいと声のでる日本語教室となったことは成功であり、結果日本語教室の独自運営につながった。

※アンケート別添。

② 学習者の習得状況

- ・日本語教室開催当初は、家族に言われるまま嫌々来ていたような生徒も居たが、講師のマンツーマン（時には講師2：生徒1）指導や教室全体でのサポートにより、自ら進んで勉強するようになった。
- ・あらかじめ複数のテーマ・レベルのプリントを用意し、生徒が学びたいものを選んで勉強するので、自分の苦手な分野や疑問点が解消されていった。
- ・日本人の配偶者として長く日本に住んでいる人でも、助詞や数の数え方が曖昧であり、本人が気づいていない点を是正することが出来た。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

- ・5～8名の生徒に対し講師10名強によるサポートにより、生徒は接続詞や形容詞など、確かな日本語を身に付けていった。
- ・講師として参加した日本語講師養成講座の受講生にとっても良い経験となり、組織としては不安定ではあるものの、生徒による日本語教室の自主運営を行うまでに至った。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

・本市には国際交流協会等のサポート機関が無く、地域住民の理解や意識も未だ低い。そのため周囲の連携・協力は得られなかったが、講師養成講座および日本語教室の運営委員は国際交流サロン開設や各種イベントを企画してきた方々に担当いただいたため、サロンを通じた周知や口コミによる募集ができた他、日本語教室とサロン間で新たな相互交流が生まれた。

⑤ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

・本市主催による講師養成講座および日本語教室が終了し、その後本市で初となる任意団体での日本語教室が運営開始された。

b. 今後の課題

・講師はそのほとんどが日本語教授未経験であり、本市の日本語教室で初めて日本語を10数回程度教えたのみで、技術・経験に乏しい。

・市内には外国人支援の団体や体制がほぼ皆無で、全てが白紙状態からのスタートである。団体としての確立、講師のレベルアップ、授業方針や資金繰りなどの問題が山積。

・今年度の教室活動および講師の誕生は市の中心に集中しており、離れた地域では講師やコーディネーターが育っておらず、手が行き届いていない。

c. 今後の活動予定, 展望

・当面厳しい状態での自主運営となるが、来年度は団体確立を目標に今年度未対応地域への出張日本語教室や企業との連携等、ステップアップを目指す。行政側としても日本語教室を開催し財政面でサポートするほか、企業との仲介、広報活動でも支援していく。

⑥その他参考資料

※外国人生徒を対象にアンケートを実施。別添参照。

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えのないものを添付すること。